

品目別レポート ぶり類

■品目説明

ぶりは、成長に伴って呼び名が変わるいわゆる「出世魚」で、地方によって違いはあるものの、40 cm以上 60 cm未満のものを「はまち」、80 cmを超えた成魚を「ぶり」と呼ぶ。また、同属種に「ひらまさ」、「かんぱち」などがある。農林水産省の生産統計では、これらは「ぶり類」としてまとめて取り扱われている。また、天然魚と養殖魚を含む総称として使用し、「ハマチ」は養殖魚の意味で使って区別する場合もある。

ぶり類には天然ものと養殖ものがあり、養殖（19年 13万5,600トン）が天然（同 10万9,000トン）ものの生産量を上回っている。養殖の主な生産地は、鹿児島県、愛媛県、大分県、高知県、宮崎県であり、特に鹿児島県は全国の3割の生産量を誇る（18年シェア 31.8%）。また、天然ものは、島根県、石川県、北海道、長崎県、鳥取県、千葉県、岩手県、三重県はじめほぼ全国的に漁獲される。

なお、19年のぶり類の国内生産量（漁獲、養殖含む）は、前年比 2.7%増の 24万4,600トンとなった（農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」）。

昨今の海外における日本食普及・拡大の影響で、輸出は米国向けが大部分を占めている。かつては主に生鮮・冷蔵ものが輸出されていたが、最近は流通で比較的扱いが容易な冷凍ものが増えているようだ。内閣官房に設置された農林水産業の輸出力強化ワーキンググループによる「農林水産業の輸出力強化戦略（平成 28年 5月）」では、同品目は他国での生産が少量であり、輸出拡大の余地が大きいものの、米国以外での需要の掘り起こしが必要であるとしている。

また同戦略では、輸出向け養殖ぶりは大型のものが好まれるため、生産面では短期間で成長し耐病性のある選抜育種や不妊化技術の開発、周年出荷を可能とする人工種苗技術の導入、低魚粉配合飼料の導入による餌料コストの削減や赤潮被害の対策、商品化の面ではメト化¹を防止する技術の開発により商品価値の向上を図る研究開発等が急務の課題とし、これらの取り組みを通じて生産性や商品価値の向上を図はかり、安定した養殖生産体制の構築と国際競争力を向上させるとしている。

■輸出概況

19年の日本のぶりの輸出動向をみると、金額は前年比 46.9%増の 2億 1,016万ドル、数量は同 227.9%増の 29,509トンであった。ただし、2019年より日本側輸出 HSコードにぶり類が新たに設定されているものがあり、前年との単純比較はできない。主要輸出国・地域の動向をみると、1位（金額ベース）の米国は、金額が前年比 25.5%増の 1億 4,601万ドル、数量が同 24.0%増の 9,012トンとなった。2位のベトナムは、金額が 1,581万ドル、数量は 9,841トンだった。3位の中国は、金額

¹筋肉中にあるヘモグロビンという色素タンパク質の鉄分が酸化し、冷凍後に時間が経つにつれ黒っぽく変色してしまう現象。

が1,191万ドル、数量は4,797トンだった。金額ベースで米国向けが69.4%のシェアを占めた。

▼表1：日本のぶり（生・蔵・凍）輸出

（単位：ドル、トン、％）

| | 2017年 | | 2018年 | | 2019年 | | 前年比 | |
|------|-------------|-------|-------------|-------|-------------|--------|---------|----------|
| | 金額 | 数量 | 金額 | 数量 | 金額 | 数量 | 金額 | 数量 |
| 米国 | 114,682,122 | 7,491 | 116,363,130 | 7,266 | 146,012,322 | 9,012 | 25.5 | 24.0 |
| ベトナム | 290,764 | 22 | 139,693 | 8 | 15,813,883 | 9,841 | 11220.5 | 122912.5 |
| 中国 | 3,844,428 | 312 | 5,313,406 | 438 | 11,916,570 | 4,797 | 124.3 | 995.2 |
| 香港 | 3,929,295 | 252 | 4,952,483 | 301 | 10,413,736 | 702 | 110.3 | 133.2 |
| タイ | 2,441,484 | 199 | 2,316,392 | 147 | 4,810,252 | 902 | 107.7 | 513.6 |
| 全世界 | 137,262,420 | 9,047 | 143,109,081 | 9,000 | 210,169,741 | 29,509 | 46.9 | 227.9 |

注：対象はHSコード 0304.49-200、0304.59-200、0304.89-200、0302.89-100（2019年～）、0303.89-600（2019年～）

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

ぶりの輸出は米国のすしブームなどによって、14年まで安定的に6,000トン台を維持。15年以降も米国市場で引き続き引き合いが強く金額も順調に増加した。米国以外には、中国、香港、タイ、ベトナムなど、一般的に日本人駐在員の多い国での需要が拡大しているようだ。安定供給が可能な食材として、すしや刺身のメニューの幅を広げたい日本食レストラン等の取り扱いが今後も増えることが想定される。また、米国以外の市場でも輸出が増加しており、新たな食材として養殖ぶりの一層の普及が期待される。

■海外事情

●米国

19年の米国のぶり類輸入額²は前年比11.7%減の6億2,297万ドルとなった。金額ベースでは、輸入先国の首位は日本で、前年比20.7%増の1億4,064万ドルとなった。ただし、数量ベースでは、首位はカナダの8,259トン（前年比5.7%増）である。米国にとっての輸入先はカナダ、メキシコ、インドネシア、ベトナムと多様化してきている。

ぶり類は、米国内において「ハマチ」という呼び名で浸透しており、米国消費者の間で人気があるすしネタのひとつになっている。スーパーマーケットでは、これまで販売されてきたような、カリフォルニアロールに代表される海苔を内側に巻く裏巻きずしから、レストランのような品質の特別な巻きずしに変わりつつあり、特にハイエンド向けのホールフーズのようなスーパーマーケットではすでに一般的な消費傾向となってきている。

² HS 定義上はぶり以外の種も含まれる。

▼表2：米国のぶり（生・蔵・凍）輸入

(単位：ドル、トン、%)

| | 2017年 | | 2018年 | | 2019年 | | 前年比 | |
|--------|-------------|--------|-------------|--------|-------------|--------|--------|--------|
| | 金額 | 数量 | 金額 | 数量 | 金額 | 数量 | 金額 | 数量 |
| 日本 | 114,721,741 | 7,741 | 116,528,161 | 7,240 | 140,643,443 | 8,532 | 20.7 | 17.8 |
| カナダ | 91,449,318 | 8,157 | 95,365,440 | 8,258 | 94,763,636 | 8,727 | △ 0.6 | 5.7 |
| インドネシア | 44,732,560 | 3,923 | 46,247,385 | 4,084 | 49,098,189 | 4,132 | 6.2 | 1.2 |
| メキシコ | 41,929,798 | 2,993 | 32,596,929 | 2,158 | 48,378,854 | 2,817 | 48.4 | 30.5 |
| ベトナム | 59,471,757 | 5,869 | 46,010,254 | 4,589 | 48,271,707 | 4,660 | 4.9 | 1.5 |
| 全世界 | 721,877,902 | 66,093 | 705,378,271 | 64,382 | 622,979,841 | 57,217 | △ 11.7 | △ 11.1 |

注：対象はHSコード 0304.49、0304.59、0304.89、ただし、HS定義上はぶり以外の種も含まれる。

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

ロサンゼルスの日系小売店（アッパーミドル向け）における日本産ブリ冷蔵（1ポンド≒454g）あたりの価格は19.99ドル（約2,199円）。サンフランシスコの日系小売店（アッパーミドル向け）における日本産生鮮ハマチ刺身（0.44ポンド≒200g）が14.51ドル（約1,596円）。ニューヨークの日系小売店（ミドル向け）における日本産冷蔵ハマチ（切り身106g）が3.99ドル（約439円）などの例がみられる（「現地市場価格調査」、ジェトロ、2020年4月）。

●中国

19年の中国のぶり類輸入額³は、前年比36.0%増の1,048万ドル、数量ベースでは前年比25.0%増の1,670トンであった。輸入先をみると日本が首位で前年比19.0%減の3,520万ドル（シェア33.5%）、2位がアルゼンチンで218万ドル（シェア20.8%）、3位がニュージーランドで109万ドル（シェア10.4%）となった。

表3：中国のぶり（生・蔵・凍）輸入

(単位：ドル、トン、%)

| | 2017年 | | 2018年 | | 2019年 | | 前年比 | |
|----------|-----------|-------|-----------|-------|------------|-------|--------|--------|
| | 金額 | 数量 | 金額 | 数量 | 金額 | 数量 | 金額 | 数量 |
| 日本 | 3,858,907 | 307 | 4,347,257 | 396 | 3,520,301 | 292 | △ 19.0 | △ 26.3 |
| アルゼンチン | 657,403 | 490 | 581,828 | 382 | 2,184,635 | 539 | 275.5 | 41.1 |
| ニュージーランド | 434,478 | 93 | 951,973 | 146 | 1,094,349 | 154 | 15.0 | 5.5 |
| インドネシア | 35,572 | 13 | 78,553 | 10 | 1,017,402 | 161 | 1195.2 | 1510.0 |
| スペイン | 3,709 | 5 | 355,969 | 6 | 975,900 | 21 | 174.2 | 250.0 |
| 全世界 | 6,039,400 | 1,181 | 7,705,002 | 1,336 | 10,480,059 | 1,670 | 36.0 | 25.0 |

注：対象はHSコード 0304.49、0304.59、0304.89、ただし、HS定義上はぶり以外の種も含まれる。

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

³ HS定義上はぶり以外の種も含まれる。また、2019年に日本で追加されたHS0302.89-100、0303.89-600に該当するHSコードが存在しない。

北京の現地系小売店（アッパーミドル層向け）における日本産ぶり 500g の価格は、90 人民元（約 1,447 円）。中国産ぶり 500 g の価格は 70 人民元（約 1,125 円）となっている（『現地市場価格調査』、ジェトロ、2020 年 4 月）。

本レポートに関する問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
農林水産・食品部 農林水産・食品課

〒107-6006
東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル
TEL：03-3582-5186

【免責条項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る自体が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。